

あとがき

昨年の核データ研究会の懇親会は、若い人が目立ち、はじめてお目にかかる人が多かった。燃料関係の会社の人だったか、「はくこの会のはじめてなんです」とぼそぼそ言っていたのが印象に残った。こうしたはじめて研究会に来るような人にも、はじめて核データに触れる人にも、この核データニュースを大いに読んでもらいたいものである。会議や会合の出席報告など、背景や経過などを知らないものには、所詮理解できないのかもしれないが、執筆者にはなんとか魅力ある読物にしていただけるようお願いしたい。

その研究会では、何人かの常連にお会いできなかった。八谷雅典さん（データ工学、元三井造船）もその一人である。八谷さんは昨年7月肝臓を病んで亡くなられたからである。もうあの佐賀弁を聞くことができなくなってしまった。亡くなってからお宅にうかがったとき、奥様が元気になったら読むつもりでしたのですと、文献のコピーの山を指さされた。ボクも八谷さんから「これ読むといい」といって突然文献をもらったことがある。いくつか教えていただきたいこともあったのに、それもかなわなくなった。

喜多尾 憲助

核データ編集委員会

柴田 恵一（委員長、原研）、井頭 政之（東工大）、岩本 修（原研）、
喜多尾 憲助（データ工学）、高田 弘（原研）、長谷川 明（原研）、
吉田 正（武蔵工大）